

## 富士大学研究者情報

経済学部経営法学科

教授

石川 啓雅

いしかわ ひろまさ

### 研究者基本情報

最終学歴	岐阜大学大学院連合農学研究科博士課程
取得学位	農学（博士）
学位取得年月	平成14（2002）年3月
出身地	北海道
専門分野	地域産業論・アジア経済論・労働経済論
担当科目	西洋経済史、ヨーロッパ経済論、経済学概論C、アジア経済論、労働経済論、観光経済論、現代と経済学
所属学会	経済理論学会、地域経済学会、農業法学会、労務理論学会、過労死防止学会
長期研究テーマ	地域経済における産業振興の方策に関する研究
短期研究テーマ	酒造業のグローバル化（世界商品化）戦略に関する研究
1年以内に発表予定の研究業績	

### 研究業績（2023年9月末日現在）

#### 【著書】

1	「第8章 地域産業としての酒造業」加藤光一・大泉英二編『東アジアのグローバル地域経済学—日韓台中の農村と都市—』153-65、大月書店、2022年3月
2	「第7章 アジアの経済成長とグローバル・サプライチェーンの形成」野口教子編『経済社会の発展と課題—アジア・欧州との交流がもたらすもの—』葦書房、125-140、2022年3月

#### 【論文】

1	「農産物直売所の世界と地域再生の論理—富山県における農産物直売所—」（単）『高岡法学』第40号、73-92、高岡法科大学、2022年12月
2	「農村政策の視点からみた砺波地域の農業・農村—2020年農林業センサス分析—」（単）『砺波散村地域研究所研究紀要』第39号、1-12、砺波散村研究所、2022.6
3	「グローバル中国経済を付加価値貿易関連指標から考える—OECDのTrade in Value Added(TiVA) DATABASEを基にして—」（単）『松山大学総合研究所所報』第118号、41-52、松山大学総合研究所、2022年3月
4	「酒造業の水平・垂直的差別化路線(市場対応)に関する批判的検討—地方小規模酒造業の市場—」（単）『高岡法科大学紀要』第33号、225-244、高岡法科大学、2022年3月

5	「平成年間における地方工業地域の経済構造の変貌―「投入主導型」地域経済の位相―」 (単) 『高岡法学』第40号、41-52、高岡法科大学、2021年12月
---	--

【その他の執筆】

1	「“集落営農”先進地域・富山県農業の行方―統計から浮かび上がる富山県農業の姿―」 (単) 『自治研とやま』No.122、4-12、公益財団法人 富山県自治研究センター、2022年10月
2	「自治研センター農林部会 2021農産物直売所調査 ―ヒアリング調査 中間報告―」 (単) 『自治研とやま』No.120、22-23、公益財団法人 富山県自治研究センター、2022年4月
3	「富山県自治研究センター農林部会の2021農産物直売所調査について―地域再生の<拠点> を求めて―」 (単) 『自治研とやま』No.118、22-27、公益財団法人 富山県自治研究センター、2021年10月

【学会発表】

1	「地方中小酒造業と地域農業の関係から地域再生を考える―地域産業におけるS Cの形成とその性格について―」 日本地域経済学会、金沢星稜大学、2022年12月
2	「[パネル報告―書評] 山田鋭夫『ウェルビーイングの経済学を読む』」 日本政治法律学会、高岡法科大学、2022年11月
3	「経済活動と土地自然、地域―地域産業としての酒造業の特性―」 経済理論学会、東京経済大学、2022年10月

【教職歴】

1	2017年4月～2019年3月 高岡法科大学 准教授
2	2019年4月～2023年3月 高岡法科大学 教授
3	2023年4月～ 富士大学教授

【内外における公開講座等の講師】

1	2023年3月 公益社団法人富山県地方自治研究センター主催『農産物直売所と地域の活性化について考える～農産物直売所が農村活性化、地域再生のための拠点になりうるか 直売所の調査・研究から～』基調報告(於：富山市)
2	2023年2月 砺波散居村ミュージアム主催『散居村を学ぶ―農業・農村シンポジウム―』基調報告「農業農村解体の35年と砺波農村―2022食糧危機を踏まえて―」(於：砺波市)
3	2021年11月 高岡法科大学主催『後期 イブニングセミナー』講師(1 / 4回)「労働・生活世界の変容と酒類消費の多様化」(於：高岡市)

【社会的活動】

1	公益財団法人 富山県地方自治研究センター 農林部会部会員(2019.4～2022.3)
---	---